

地域貢献活動事例報告書

活動団体名	バリアフリーデザイン研究会	事業名	子飼商店街の活性化
<p>●活動の概要</p> <p>今年度は、昨年度に行った店主の方々との話し合いの中から、要望のあった空き店舗の活用を検討し、実際に改修を行おうと計画した、しかしながら、商店街の組合から、不用になった段ボール集積場としての活用を聞かされ、やむなく計画を変更することとした。結果として、この校区で高齢者の包括支援活動に取り組んでいる「ささえりあ浄行寺」の田口さんの提案を受け、商店街と当研究会及びささえりあ浄行寺と一緒に、高齢者が商手街に気軽に出てこられるイベントとして、「第1回まちかどカフェ」を実施した。</p>			
<p>●活動団体の概要</p> <p>個人の違いを尊重し、誰もが、平等に社会活動等を行うことができる生活環境が形づくりに貢献することを目的に活動。高齢者等の自立した生活には、地域に密着した商店街の活性化が欠かせないと、子飼商店街をモデル的に取り組む。</p>		<p>●他の団体・専門家との連携</p> <p>商店街組合やささえりあ浄行寺と一緒に企画し、当日のイベントには、碩台校区・黒髪校区の社会福祉協議会の協力を得た。</p>	<p>●建築士の関わり</p> <p>当研究会の建築士を中心に活動を企画している。当日は、当研究会以外の建築士も参加。</p>
<p>●活動のきっかけ</p> <p>一昨年度からの建築士会女性部会(持田部会長)及び熊本大学の学生との取り組みを受け継ぐ形で、当研究会の会員でもある持田さんが、商店街の活性化のため、当研究会で何かできないかを考えたのがきっかけ。</p>			
<p>●活動の内容と成果</p> <p>【内容】</p> <p>1 看板づくり:子飼商店街にある二つの組合に、それぞれイベントを紹介する看板を作成。 2月27日に行った看板づくりの仕上げも、商店街の中で実施したため、まちかどカフェの宣伝にもなった。 出来上がったものは、すぐに使用され、次の土曜日(3月5日)の百円笑店街の広告や本番の「まちかどカフェ」のイベント開催広告にも利用。</p> <p>2 第1回のまちかどカフェの実施</p> <p>高齢者の自立した生活に役立てる催しとして開催。内容は、地域の方による「だご汁作り」、高齢者のかたの作成による作品展(絵画、書、詩など)、高齢者の健康相談、薬に関する説明会、音楽療法実演会、肥後ちゃんかけごまの指導、実演。だご汁やお菓子、飲み物の提供、商店街による特典手形による特典サービスなど</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沢山の方(200名を超える、子供から年配の方まで)の参加(熊日新聞に掲載:別添) ・こうした催し物をしたいという商店街組合の活性化の取組の醸成 			
<p>●今後の課題</p> <p>貴重な建築士会のお金を使ってできたイベントだが、一過性のものに終わるのではなく、今後とも子飼商店街の取組の支援が必要。また、軌道に乗ったらその広報も課題となる。</p>			
<p>●今後の計画</p> <p>商手街で、自主的な「第2回のまちかどカフェ」を計画されている。</p>			
報告書作成者	所属	バリアフリーデザイン研究会 事務局	氏名 深水 俊博

【経緯】

1 商店街との関係

- ・当初は、昨年度からの検討していた空き店舗を、商店街活性化の一つとして役立てられないか、地域のたまり場、休憩の場として、活用することは出来ないかと考えていた。
- ・7月になって、活用を予定した空き店舗を段ボール置き場として活用をしている。今後も、商店街組合の活動費の一助として、不用の段ボール置き場として使いたいとの話があった。
- ・このため、昨年度から予定していた空き店舗の活用による活性化をやめ、練り直すことになった。
- ・子飼商店街が属する碩台校区の高齢者地域包括支援センターの田口さんと一緒に、高齢者が街、子飼商店に出てくる機会を増やす企画を考えることになり、商店街も一緒に取り組むイベントとして、碩台コミュニティーセンターで、「まちかどカフェ」を行うこととした。
- ・商店街としては、催しに協力するお店を募っていただき、イベントの日に限ったサービスをするようになった。まちかどカフェの会場で「手形」を配布し、手形を見せた人に、サービスを提供する仕組みである。
- ・なお、当初、空き店舗の前面にイベントの広告ボードを計画していたため、それに代わって、通りに置く看板を造ることとなった。



2 ささえりあ浄行寺

- ・「まちかどカフェ」のイベントの実施に当たっては、高齢者地域包括支援センターの「ささえりあ浄行寺」に全面的にお世話になった。
- ・イベントの内容、広報のチラシ、地域自治会や「ちゃん掛けゴマ保存会」との交渉、当日のスタッフの手配などである。

【活動内容】

● 看板づくり

- ・通りに置く看板は、商店街の組合、それぞれに置くため、二つ造ることになった。
- ・一から素人がよって看板を造ることが難しいため、プロでもある会員の小椋さんが下準備の作業を行い、会員の仲間は、「渋柿隊」、商店街の一角で、看板に渋柿を塗るだけの役割となった、
- ・「まちかどカフェ」の当日に雰囲気盛り上げる登り旗も造ることになった。
- ・商店街で作業をしていると、何かパフォーマンスをしているのかと聞かれ、「まちかどカフェ」のお知らせも出来、商店街で作業をした効果があった。
- ・看板を商店街組合の役員の方に届けると、早速通りに出していただき、1週間後に開催される子飼商店街の最も重要な催しである「百円笑店街」の催しの広報に使って頂いた。
- ・ついでながら、その看板に、「まちかどカフェ」のチラシも掲示した。



●まちかどカフェ

高齢者が、商店街に買い物などに気軽に出て来てもらうことで、高齢者の自立した生活に役立ち、また、商店街も活性化を図る催しとして開催。

開催日時 平成 28 年 3 月 26 日(土)

11:00~15:00

開催場所 碩台コミュニティーセンター

イベント内容

地域の方による「だご汁作り」

高齢者の作成による作品展(絵画、書、詩など)

高齢者の健康相談

薬に関する説明会、

音楽療法実演会

肥後ちゃんかけごまの指導、実演。

だご汁やお菓子、飲み物の提供、

商店街による特典手形による特典サービスなど

協力団体

子飼商店街、黒髪・碩台校区社会福祉協議会

黒髪・碩台校区食生活改善推進員

黒髪校区子育てネットワーク、くまもと高齢者支援インフォーマルサービスネットワーク

参加者

地域内の高齢者、子供など

200 人を超える参加者。



会場の周囲



会場の内部

子飼商店街近くであった「まちかどカフェ」で、お茶を飲みながら話す女性たち
— 熊本市中央区

子飼商店街に「まちかどカフェ」

高齢者と交流の場に

地域ぐるみで見守り

子飼商店街(熊本市中央区)の入り口にある碩台地域コミュニティセンター1201室。無料で飲み物やだご汁が振る舞われる「まちかどカフェ」が登場した。1人暮らしのお年寄りとの交流の場をつくるという企画。早速買い物帰りの女性や親子らが軽々と訪れ、おしゃべりを楽しんでいた。

市高齢者支援センター「まちかど」のスタッフは、商店街の活性化に取り組み、建設士らの団体「バリアフリーデザイン研究会」の提案。商店街がある碩台校区や隣の黒髪校区は集合住宅が自立し、独居のお年寄りも多いという状態に立ちまわることが難しくなっている。そこで、地域全体で見守りにつなげるのが目的。

・地元の医療機関、福祉施設の職員らが相談に応じる。「まちかど保健室」も開設。体調や日常生活の不安などの悩みを話し合ったり、近所レイズン(近所)は、一歩段から商店街で買い物するが、こつやつとおしゃべりできる場があるとうれしいと笑顔。

商店街では、特典サービスも提供された。特典手形は、今後も定期的に開きたいとしている。(益田大也)



外部の会場

第1回 子飼お店めぐり

商店街で使える特典手形つき!

まちかどカフェ

商店街はみんなの縁がわ! みんなでおしゃべり!

参加 無料!

平成28年3月26日(土)
11:00~15:00

碩台コミュニティーセンター

まちかどカフェ
11:00~14:00
だご汁(先着100名様)
お菓子、お茶、コーヒー、紅茶
※その他にも用意しています。 監修:老人保健施設なでしこ 管理栄養士 高橋さん

まちかど保健室
医療機関、介護、福祉事業所の専門職による情報提供があります!
万が一の不安 ガービス
お薬管理 食事 栄養 口腔ケア
認知症手帳
人材
生活 外出
便利サービス
子育て 寺子屋
運動 話し
居場所

地域住民の皆さんの作品展
楽しい演奏など
子飼の昔と今
写真・ビデオ上映!

まちかど音楽室
14:00~
音楽療法
音楽のチカラで、元気に!
懐かしい音楽、介護予防!
音楽療法
西本由美先生

来場者には子飼商店街でその日に使える「特典手形」を配布します!

特典手形で
お得にお店めぐり!

子飼商店街
お店めぐり
特典手形

碩台コミュニティーセンター(商店街の角にあります。)

子飼商店街

子飼橋

バリアフリーデザイン研究会作成 子飼商店街案内マップ

子飼商店街・バリアフリーデザイン研究会
熊本市高齢者支援センターとさきより歩行会
協力:碩台校区・黒髪校区社会福祉協議会
お問い合わせ ☎ 243-2233

